

## わたしのすきな絵本

「今月の一冊 ～わたしのすきな絵本～」(10月)

<ご紹介者>

矢祭町長 佐川 正一郎

矢祭町子ども読書の街づくり推進委員会委員長



## 『ふくしまからきた子』

松本 猛、松本 春野 作 / 松本 春野 絵 / 岩崎書店

対象：幼児から



### 内容のご紹介

BSで“日本ぶらり鉄道の旅”JR磐越西線という番組を見ていました。この中で、猪苗代町に移住して絵本を創作している“松本春野さん”の紹介がありました。

松本春野さんは、“ふくしまからきた子”の絵本をここで創り、原発事故の悲しい思いを語っています。この絵本の中で、原発事故後に家族は離散し、父は、福島に残り、まやは、母と母の実家の広島市に避難しました。

広島市は、戦後の放射能汚染で、人々は大変な苦しみを体験しました。福島原発事故でも非難した子どもや残った人達も差別や乱暴な言葉をかけられ苦しい思いをしました。

福島の子供達も、よく学び、強く生きていって欲しいです。

今、世界情勢が不安な中、私たちは、平和で安全に安心な社会をつくっていかねばならないと思います。未来をつくる子どもに読んで欲しい本です。

原発事故後に福島から引っ越してきた女の子まや。公園で地元のサッカー好きな少年“だいじゅ君”がサッカーに誘いますが、「私、やらない」と断ります。二人の子どもの交流を通じ、原発と放射能、私たちの未来について考える絵本です。

(岩崎書店紹介文 / 矢祭もったいない図書館)